

新徳京ロープウェイ

安全報告書 2018



奥飛観光開発株式会社

1. 利用者の皆様へ

平素は、新穂高ロープウェイをご利用いただき誠にありがとうございます。

弊社は、安全・安心の確保を経営理念のトップに掲げ、全社一丸となって安全輸送の向上に取り組んでおります。

又、輸送サービスの充実についても、お客様の安全・安心を大前提としたソフト及びハード両面での不備・不足の解消とレベルアップを目標に、更なる努力を続けてまいります。今後とも、ご支援を賜ります様お願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、平成29年度の安全輸送に対する取組みを広く皆様にご理解いただくために公表するものでございます。

皆様からの声を更なる安全に役立てたく、忌憚のないご意見ご感想を賜れば幸いに存じます。

奥飛観光開発株式会社

代表取締役社長 横幕 信樹

2. 安全に関する基本的な方針

(1) 行動規範

社長、役員及び社員は、次に掲げる安全に係る行動規範を理解し、輸送の安全確保を最優先に、お客様と地域から愛される「信頼のトップブランド」を目指します。

【行動規範】

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程等をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全方針と重点施策

当社では、安全管理委員会において、安全方針・安全重点施策を策定し、輸送の安全確保に取り組んでおります。

【安全方針】

法令遵守と安全最優先
安全マネジメント体制の推進

【安全重点施策】 平成 29 年度の安全重点施策は、以下の 3 項目でした。

平成 29 年度安全重点施策

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- 2 ヒューマンエラー・施設故障の削減を図ることにより、事故の撲滅を目指す。
- 3 指示・連絡・報告を徹底すると共に情報を共有化し、安全性の向上を目指す。

(3) 安全重点施策の実施結果

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
法令に基づく規定類（運転取扱細則・運転取扱内規等）の遵守及び習熟を図るため、安全運行講習を 7 月（輸送の安全を確保する為の基本的な方針等）及び 12 月（安全管理規程類等）に実施しました。また、新入社員には、配属時に業務規定類を事前配布し、4 月及び 12 月に規則・社則に関する教育を実施しました。
- 2 ヒューマンエラー・施設故障の削減を図ることにより、事故の撲滅を目指す。
業務日誌への「ヒヤリハット」記入を通し、ヒューマンエラー・施設故障の情報を集約。営業終了後、各課一斉に行うショートミーティングでは、具体的な不具合への対処や経過報告、情報の共有を図っています。ヒューマンエラー撲滅を図る一環として、12 月の安全運行講習終了後、運転業務に携わる場合の注意事項の再確認を行いました。
- 3 指示・連絡・報告を徹底すると共に情報を共有化し、安全性の向上を目指す。
OJTを通じ、担当駅長指示による注意項目や目標項目を設定。評価シートを通じ連絡・報告の徹底を図っています。また、運行中においては、モニタリングシステムを活用し、お客様の流れや搬器の状態等を把握。IP無線網を用いて相互連絡を取り、安全・安定したお客様の輸送を最優先事項として業務にあたっています。12 月の安全運行講習終了後、運転業務に携わる場合の連絡報告システムの再確認を行いました。

(4) 平成 30 年度安全重点施策の策定

平成 29 年度安全重点施策の実施結果を踏まえ、さらなる安全確保体制の向上を目指し、平成 30 年度安全重点施策を策定いたしました。

これまでの施策の取り組みにより、それぞれ一定の成果を上げてきていますが、マニュアル等の見直しや安全に関する情報共有の指示・連絡・報告の更なるスピードアップ。習慣化した基本動作に対し、改めて安全を意識した取り組みとし、継続的改善を図ってまいります。

また、係員の自発的な行動につなげられる、主体的な教育・訓練の充実を図ります。

平成 30 年度安全重点施策

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- 2 習慣化している安全基本動作（指差、呼称・確認の一連の動作）を引き続き厳正に実行する。
- 3 指示・連絡・報告を徹底すると共に“スピード感”をもって情報を共有化し継続的な安全性の向上を目指す。

3. 当社の安全管理体制

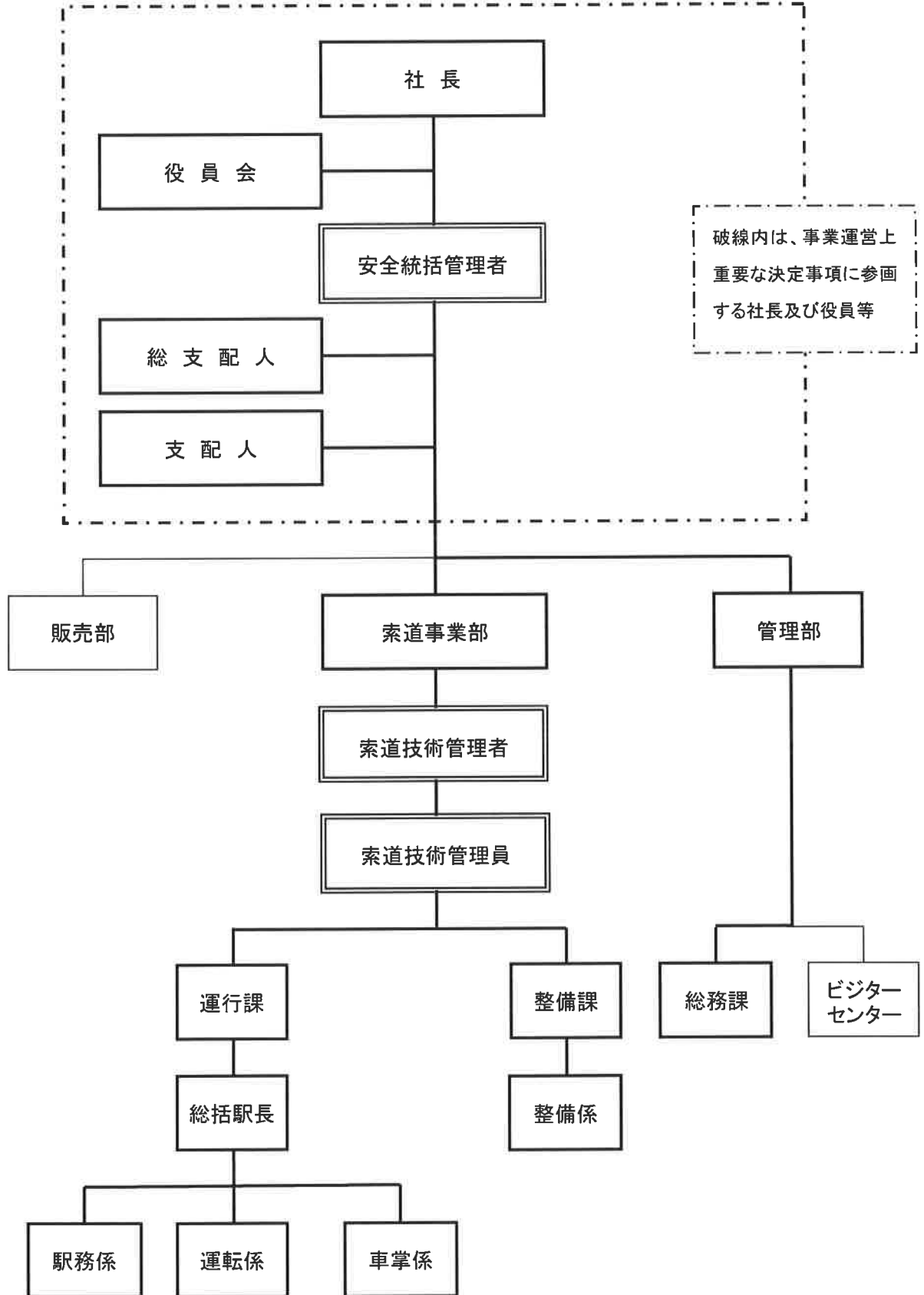
(1) 安全管理体制の確立

当社では、社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の役割及び権限は、社内規程によりその責務を明確にしています。

安全管理委員会において、より一層の運行の安全確保に努めるため、安全マネジメント体制の維持・向上を図る施策を推進するとともに、安全運行に係る事項の情報共有、原因究明・対策の検討を実施しております。

新穂高ロープウェイ

安全管理体制図



(2) ヒヤリハット報告

当社では、各部署からのヒヤリハット報告を集約し、安全のための対策を策定しております。平成 29 年度は 264 件の報告がありました。これら得られた情報を、PDCA サイクルに繋げていくことにより、さらなる安全活動の活性化に取り組んでおります。

(3) ヒヤリハット報告による改善事例

【報告】 新穂高温泉駅ホーム防風雪シート新規設置

【実施】 新穂高温泉駅ホームに防風雪シートを設置したことにより、お客様が通過する階段上への雪の吹き込みが大幅に減少。雪が原因によるお客様のスリップ転倒の軽減、従業員の労働災害防止に効果を発揮している。



4. 平成 29 年度 事故等の発生状況

(1) 索道運転事故

平成 29 年度、当該事故の発生はありませんでした。

(2) インシデント（事故の兆候）

平成 29 年度、該当するインシデント事項はありませんでした。

5. 安全確保のための取組み

(1) 人材教育・育成

日頃より視差称呼、声掛け等の基本動作の指導を継続しておこなっております。又、規定類及び各内規の習熟度を高めるため、集中的な講習を6月と12月の2回実施しました。その他、外部講師を招いた研修を行い、サービスの向上を図っております。



(2) 緊急時対応訓練

ロープウェイが運行途中で動けなくなった事態を想定し、救助訓練を本年度も7月と12月に実施しました。なお、7月に行った第1区線の訓練では、2車両同時の救助を行い無線交信のやり方などの相互確認を含め実施しました。

また6月に、新入社員を中心に、高山市消防署上宝分署にて、AEDの取扱い講習を受講、並びに火災を想定した避難訓練等を実施しました。

第1区線 山麓駅（新穂高温泉駅）



第1区線 山頂駅（鍋平高原駅）



12月 第2区線での救助訓練



(3) 安全のための投資と支出

平成29年度は、第2区線の曳索・平衡索交換工事並びにNo.1サイリスタ盤のレトロフィット改造工事及びPLC更新工事、アキュムレータ交換工事、第1区線の制動機油圧ユニット更新及びユニバーサルジョイント取替等の索道の機械・電気設備の保守に関する整備、工事、点検と運行中の安全確保の重要な役割の一つである風向風速計機器の再検定及び最新機種への更新に約95百万円を投資しました。今後も安全・保安対策を計画的に実施し、さらなる安全性の向上を推進します。

6. ご連絡先

【 本 社 】

〒 506-0053
岐阜県高山市昭和町1丁目165-1

奥飛観光開発株式会社

TEL : 0577-33-0517
FAX : 0577-34-7101
ホームページ : <http://www.okuhi.jp/>

【 事業所 】

〒 506-1421
岐阜県高山市奥飛驒温泉郷
神坂字巾平710番地79

新穂高ロープウェイ

TEL : 0578-89-2252
FAX : 0578-89-2815

※ メールをご利用される方は、ホームページ内の「総合ご案内」よりお寄せ下さい。

平成30年(2018年) 月発行